

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 2 年度)

施設の名称	東大阪市立図書館(花園・永和・四条・大蓮分室・石切分室・移動図書館)	指定期間	28	年度～	2	年度			
		指定の方法	複数施設を一括指定管理						
施設所管課	社会教育部 社会教育課	連絡先	06-4309-3279						
設置目的	社会教育法の精神に基づき、国民の教育と文化の発展に寄与する。								
施設内容・業務内容等	図書、記録その他必要な書類を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設であり、3館2分室・移動図書館の管理、図書等の選定・購入・整理・保存業務、レファレンス業務、移動図書館業務、ブックスタート業務などを行っている。								
指定管理者	NTTデータグループ・ヒバリヤ書店 共同企業体	連絡先	06-6730-6677(永和図書館)						
人員体制	正規職員	57	人	パート・アルバイト	14	人	その他		人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	花園:310日 永和:361日 四条:316日 大蓮:140日 石切:92日	花園:310日 永和:359日 四条:314日 大蓮:143日 石切:94日	花園:281日 永和:296日 四条:287日 大蓮:129日 石切:83日	花園:281日 永和:296日 四条:287日 大蓮:129日 石切:83日	花園:314日 永和:361日 四条:315日 大蓮:148日 石切:101日
指定管理委託料(千円)	397,195	391,058	392,987	406,984	-
利用状況指標	1 有効登録者数	40,389	39,860	36,961	補足説明
	2 貸出件数	2,028,650	2,066,998	1,759,009	補足説明
	3 貸出人数	498,363	500,563	420,263	補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S	当該施設の設置目的に則して、協定書・仕様書どおりに各業務を遂行している。さらに、誰もが気軽に参加していただけるような自主事業に取り組んでおり、多くの市民に図書館を知ってもらえるよう日頃より周知に努めているところが評価できる。 また、危機管理マニュアルを定期的に見直すことや、施設の防災関係の会議に参加するなど、常に危機管理意識を持ち、市民の安全の確保に努めている。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	専門の施設管理保守要員を常駐させることで、設備等の適切な整備に努め、安定した図書館運営に努めるとともに、定期的な樹木剪定・草刈り等により施設周辺の環境整備を行うことで、近隣住民への配慮がなされている。 改善事項としては、人員体制の中で各業務に支障をきたさないよう人員が配置されており、労務管理も適正に行われているが、離職率が1割を超えていることを真摯に受け止め、可能な限り改善に努めていただきたい。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S	初めて来館される方に対して利用案内等を配布し、次につながるよう丁寧な対応を心掛けているとともに、障害者に対しての資料宅配サービスや対面朗読の実施、点字・録音資料の提供など、平等な利用の確保に努めている。また、図書館見学・職場体験・インターンシップを受け入れることで、利用希望者に対する機会の提供や、職員研修を積極的に行うことで、職員の接遇能力や専門性の向上を図り、ソフト面でのサービス向上が図られている。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	館内に意見箱を設置し、意見に対しての回答を貼り出すなど、利用者の声を運営に活かすよう取り組んでいる。 また、利用者アンケート調査を実施しており、利用者のニーズを把握し、市民視点に立ち、さらに満足度を維持できるよう努めている。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	図書館ボランティア団体等と連携しながら様々なイベント、自主事業等の開催により、来館者数、貸出件数等の目標を達成しており、政策目的どおりに事業が有効に展開されている。また、指定管理料の範囲内で適切に予算を執行するとともに、さらに運営経費の削減に努めている。 改善事項としては、様々なイベント、自主事業等を開催する中で、一部効果の低いものも見受けられるため、今後はこれまで培ってきた経験・知識を活かし精査に努めていただきたい。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	各種法令等に基づき、人員基準及び運営基準等を遵守しており、職員へコンプライアンス関連研修を実施することで法令等への対応に努めている。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	様々な取組により利用者増などの効果を発揮しているところではあるが、離職率が1割を超えていることが市民サービスの低下につながるよう可能な限りソフト面での改善に努めていただきたい。 また、今後はこれまで培ってきた経験・知識を活かし、事業の精査を行った上で施設の効果を最大限発揮できるよう管理運営に努めていただきたい。